

# 日本体育・スポーツ政策学会第27回学会大会 大会プログラム

大会テーマ：体育・スポーツ政策のイノベーションと大学

## 主旨：

スポーツ庁が発足し、はじめてスポーツ庁のもとで予算が編成され、スポーツ政策が実施されている。また第2期のスポーツ基本計画がスタートした。スポーツ庁が主導する体育・スポーツ政策はこれまでの政策をどう転換するのか。本大会では、特に大学と関係する施策に焦点をあて、大学スポーツによる経済活性化策と国際スポーツ人材の育成の観点から政策を論じる機会とする。

1. 会期：平成29年12月2日（土）から平成29年12月3日（日）

2. 会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎

（住所）〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

（電車でのアクセス）丸ノ内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩5分程度

（アクセスマップ）[http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo\\_access.html](http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html)

3. 主催：日本体育・スポーツ政策学会

4. 共催：筑波大学

5. 主管：日本体育・スポーツ政策学会第27回学会大会実行委員会

6. 後援：スポーツ庁

7. 日程：

<大会1日目：12月2日（土）>

12:00 - 12:45 理事会（119 講義室）

12:30 受付開始

13:00 - 13:45 総会（134 講義室）

アジアスポーツ政策学会会長・韓国漢陽大学林泰星教授 ご挨拶

14:00 - 15:45 シンポジウム1「経済活性化の機能を託された大学スポーツを問う」（134 講義室）

●コーディネーター

高橋義雄（筑波大学体育系准教授）

●シンポジスト

川井圭司（同志社大学政策学部教授）

小林勝法（文教大学教授）

三沢英生（株式会社ドーム取締役）

16:00 - 17:45 シンポジウム2「国際スポーツ人材の育成と大学」（134 講義室）

●コーディネーター

金子史弥（筑波大学体育系助教）

●シンポジスト

今泉柔剛（スポーツ庁国際課長）

小林勉（中央大学総合政策学部教授）

塚本拓也（筑波大学体育系主任研究員・TIAS 海外事業広報戦略ディレクター）

17:50 閉会

18:10 - 20:00 情報交換会（会場：茗溪会館）

（住所）〒112-0012 東京都文京区大塚 1-5-23

（電車でのアクセス）丸ノ内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩2分

（アクセスマップ）<http://www.meikei.or.jp/about/meikeikaikan>

## ○シンポジウム

### 1. テーマ：経済活性化の機能を託された大学スポーツを問う

コーディネーター：高橋義雄（筑波大学体育系准教授）

シンポジスト：川井圭司（同志社大学政策学部教授）

「大学におけるスポーツ振興の本質—NCAA からの学び—」

小林勝法（文教大学教授）

「大学体育教員はスポーツ振興／経済活性化にどのように寄与できるのか」

三沢英生（株式会社ドーム取締役）

「成熟国家におけるスポーツの価値—スポーツを通じて社会を豊かにする—」

#### 趣旨：

2017年4月に発表された第2期スポーツ基本計画では、施策目標として「我が国の大学が持つスポーツ資源を人材輩出、経済活性化、地域貢献等に十分活用するとともに、大学スポーツ振興に向けた国内体制の構築を目指す。」が設定された。また6月には、政府の「未来投資戦略2017—Society 5.0の実現に向けた改革—」のなかで、大学スポーツが取り上げられ、「適切な組織運営管理や健全な大学スポーツビジネスの確立等を目指す大学横断かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）の平成30年度中の創設を目指し、産学官連携協議会を設置し制度設計を進める。大学におけるスポーツ分野のキャリア形成・地域貢献・資金調達力の向上等の取組を戦略的かつ一体的に管理・統括する部局の設置や人材の配置について、今後5年間で100の大学が取り組むよう推進する」とされ、大学スポーツビジネスや資金調達力という言葉が登場している。

こうした大学スポーツに対する政策は、従来の高等教育政策、体育政策、スポーツ政策における大学スポーツに期待される機能とは異なり、大学のスポーツ資源（学生、指導者、研究者、施設等）の活用が経済・地域の活性化の起爆剤となり得ると指摘しており、大学は大学スポーツの仕組み自体を見直す必要性が生じている。そこで、本シンポジウムでは、当事者でもある国立および私立の大学関係者に加え、産業界からシンポジストを迎えて、具体的な施策について議論し、経済活性化に向けた大学スポーツ政策の課題と将来について考えることとする。

### 2. テーマ：国際スポーツ人材の育成と大学

コーディネーター：金子史弥（筑波大学体育系助教）

シンポジスト：今泉柔剛（スポーツ庁国際課長）

「国際スポーツ人材の育成と大学—スポーツ国際戦略と国際スポーツ人材の育成—」

小林勉（中央大学総合政策学部教授）

「スポーツを通じた国際開発の現状とその活動を支える人材の育成について：

これから求められる人材とは、どのような資質を備えた人なのか。」

塚本拓也（筑波大学体育系主任研究員・TIAS 海外事業広報戦略ディレクター）

「国際スポーツ人材の育成に関わるスポーツ大学院の国際的動向

—スポーツ組織主導型と五輪招致型の事例から—」

#### 趣旨：

2017年3月に策定された第2期スポーツ基本計画では、「スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現」が今後5年間に取り組むべき重要施策の1つとして掲げられた。この中でスポーツ庁は、「スポーツを通じた国際社会の調和ある発展への貢献」を具体的な政策目標の1つに挙げ、国際競技団体等における役員数の増加、「スポーツ・フォー・トゥモロー」を通じたスポーツの価値の普及、スポーツ団

体等における国際業務の体制強化等に取り組むとしている。一方で、2011年に設立された「JOC 国際人養成アカデミー」、2014年に開始された「スポーツ・フォー・トゥモロー」の「国際スポーツ人材育成拠点の構築」事業、さらには昨今の「スポーツを通じた国際開発」に関わる人材の育成を目的とした学部（学科）・大学院コースの設立など、様々なスポーツ組織や大学においても先に挙げた取り組みを支える「国際スポーツ人材」を育成しようという試みも出始めている。

そこで本シンポジウムでは、「国際スポーツ人材」の育成に関する政策的動向を把握するとともに、こうした人材の育成に関して大学がどのように関わっていくべきなのかについて、政策立案者、研究者、現場の視点を交えて議論することとする。

はじめに、スポーツ庁国際課長今泉柔剛氏より、政府（スポーツ庁）のスポーツ国際戦略および国際スポーツ人材の育成に関する政策の概要と課題についてご発表いただく。

次に、中央大学教授であり、また、「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムの調査研究プロジェクトのメンバーでもある小林勉氏には「スポーツを通じた国際開発」の現状を概説いただいた上で、その活動を支える人材の育成についてご自身の経験を踏まえて論じていただく。

最後に、「スポーツ・フォー・トゥモロー」の「国際スポーツ人材育成拠点の構築」の一環として2014年に筑波大学に設置された「つくば国際スポーツアカデミー（TIAS）」の主任研究員である塚本拓也氏より、「国際スポーツ人材の育成に関わるスポーツ大学院の国際的動向」と題して、国際オリンピック委員会（IOC）の支援を受けて設立されたAISTS、国際サッカー連盟（FIFA）の支援により設立されたFIFAマスターなどの海外のスポーツ大学院の取り組みについてご紹介いただく。

その上で、シンポジスト、フロアを交えて、我が国における国際スポーツ人材の育成における課題、さらには当該政策に対する大学の関わり方について議論していきたい。

## <大会 2 日目：12 月 3 日（日）>

8:30 受付開始

9:00 - 9:40 一般研究発表：セッション I ※各 20 分（発表 15 分+質疑応答）

<第 1 会場（121 講義室）> 座長：出雲輝彦（東京成徳大学）

1-1 (9:00-9:20)

○平塚卓也（筑波大学大学院）

1949 年の文部省設置法制定過程における体育行政組織の改編—文部省案と CIE 案の比較—

1-2 (9:20-9:40)

○日下知明（筑波大学）

地方スポーツ政策におけるガバナンス研究の分析枠組みに関する検討

<第 2 会場（122 講義室）> 座長：森浩寿（大東文化大学）

2-1 (9:00-9:20)

○米村真悟（同志社大学大学院）・横山勝彦（同志社大学）

子どもの放課後の居場所を創出するスポーツコミュニティ—行動変容理論を視点に—

2-2 (9:20-9:40)

○小林壘（同志社大学大学院）・横山勝彦（同志社大学）

ユニバーサル・アクセス権の成立過程に関するイシューネットワーク分析

—日本のメディアスポーツの課題解決を視点に—

10:00 - 10:40 一般研究発表：セッション II ※各 20 分（発表 15 分+質疑応答）

<第 1 会場（121 講義室）> 座長：谷藤千香（千葉大学）

1-3 (10:00-10:20)

○内藤正和 (愛知学院大学)・横山勝彦 (同志社大学)

都市計画と整合性を持つスポーツ施設に関する一考察—外部性を視点として—

1-4 (10:20-10:40)

○藤岡成美 (公益財団法人笹川スポーツ財団)

訪問留置調査とインターネット調査におけるスポーツ実施状況の回答傾向の違い—  
—スポーツライフ・データ 2016 を用いた比較検証—

<第2会場 (122 講義室)> 座長：武田丈太郎 (新潟医療福祉大学)

2-3 (10:00-10:20)

○斎藤貴博 (東京学芸大学大学院)・松田恵示 (東京学芸大学)・田嶋大樹 (東京学芸大学)  
教育支援センターにおけるスポーツ活動

2-4 (10:20-10:40)

○黒澤寛己 (びわこ成蹊スポーツ大学)・横山勝彦 (同志社大学)

我が国の体育科教育政策の現状と今後の政策展開について  
—中学校・高等学校「体育理論」領域を視点に—

11:00 - 12:00 一般研究発表：セッションⅢ ※各 20 分 (発表 15 分+質疑応答)

<第1会場 (121 講義室)> 座長：笠野英弘 (山梨学院大学)

1-5 (11:00-11:20)

○齋藤健司 (筑波大学)・日下知明 (筑波大学)

オリンピック憲章におけるオリンピズムの基本原則の変化

1-6 (11:20-11:40)

○田中暢子 (桐蔭横浜大学)

デンマークにおける精神障害者スポーツを取り巻く推進システム  
—デンマーク障害者スポーツ連盟と比較して—

1-7 (11:40-12:00)

○日比野幹生 (日本体育大学)

我が国のエリートスポーツ政策の展開

<第2会場 (122 講義室)> 座長：成瀬和弥 (筑波大学)

2-5 (11:00-11:20)

○中田賢一 (新潟医療福祉大学大学院)・加藤幸真 (日本大学)・加藤秀治 (佐野日本大学短期大学)  
新制大学の発足と大学体育教育—1945年から1950年を中心に—

2-6 (11:20-11:40)

○尾原弘恭 (関西医療大学)・横山勝彦 (同志社大学)

運動部活動の地域連携に関する一考察—人格形成を視点に—

2-7 (11:40-12:00)

○有吉忠一 (同志社大学大学院)・横山勝彦 (同志社大学)

スポーツ振興政策のファイナンスに関わる考察—ESG とスポーツの価値—

## 8. 参加申込み

(1) 参加費 学会大会：一般会員 5000 円、学生会員 3000 円、会員外 5000 円

情報交換会：一般 5000 円、学生 3000 円

- (2) 申込方法 所定の「第 27 回学会大会参加および一般研究発表申込書」(学会大会ホームページ <http://www.jsppes.org/taikai/canference.html> からダウンロードできます) に必要事項をご記入の上、日本体育・スポーツ政策学会第 27 回学会大会実行委員会 <[sportseisaku27gakkai@gmail.com](mailto:sportseisaku27gakkai@gmail.com)>まで E-mail でご送付ください。当日参加も受け付けております。

### 日本体育・スポーツ政策学会第 27 回学会大会実行委員会

#### 【大会実行委員会組織】

- ・大会実行委員会 委員長 齋藤健司 (筑波大学)
- ・大会実行委員会 副委員長 菊幸一 (筑波大学)・松田恵示 (東京学芸大学)
- ・シンポジウム企画担当 高橋義雄 (筑波大学)・金子史弥 (筑波大学)
- ・会場・懇親会 成瀬和弥 (筑波大学)・平塚卓也 (筑波大学)
- ・プログラム・抄録 日下知明 (筑波大学)
- ・受付・会計 出雲輝彦 (東京成徳大学)・眞鍋隆祐 (彰栄保育福祉専門学校)  
茂木宏子 (筑波大学大学院)

#### 【お問い合わせ先】

日本体育・スポーツ政策学会第 27 回学会大会実行委員会事務局

(住所) 〒305-8574 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学体育系 齋藤健司 気付

(TEL・FAX) 029-853-6364

(E-mail) [sportseisaku27gakkai@gmail.com](mailto:sportseisaku27gakkai@gmail.com)

## 一般研究発表の演者の皆さまへ

- (1) 1題あたりの割当時間は20分（発表15分＋質疑応答・交代時間）とし、13分で1鈴、15分で2鈴、19分で3鈴を鳴らしますので時間を厳守してください。今大会はスケジュールが非常にタイトになっておりますので時間通りの進行にご協力ください。なお、質疑応答時間をより長く確保したい場合は、発表時間を短縮することで調整を図ってください。
- (2) 当日資料を配布する場合は、発表するセッション開始時刻の20分以上前に発表会場入口付近の指定された机の上に「70部」を目安に配布資料を置いて下さい。
- (3) パワーポイント及びプロジェクターを使用して発表する場合は、大会事務局で用意したパソコン（Windows 10・Power Point2016 搭載端末の予定）とプロジェクターをご利用ください。各発表会場のセッションごとに1台のパソコンを使用します。  
演者の皆様は、当日 8:30 までに各発表会場セッティング済みのパソコンにUSBからデータ保存し、動作確認をしてください。
- (4) レーザーポインタをご使用になられる場合は、各自でご準備下さい。
- (5) 発表時のパワーポイントの操作は、演者自身で行ってください。ただし、トラブルが生じた時などは大会事務局員他が可能な限りサポートします。

※一般研究発表に関することをご不明な点がございましたら、日本体育・スポーツ政策学会第27回学会大会実行委員会までご連絡ください。

# 会場案内

筑波大学東京キャンパス文京校舎 所在地

(住所) 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

(電車でアクセス) 丸ノ内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩5分程度



(アクセスマップ)

